

あなたの笑顔がみたいから…

銭代坊行政区地域福祉部の  
声かけ訪問活動  
(本文2ページ)

嘉麻市社協だより

# えがお

発行日 2009.3.1 No. 37



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

発行 〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>  
FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

# 広げよう! 「顔」が見える関係づくり

地域福祉部  
紹介 no.3

## 銭代坊行政区地域福祉部



銭代坊を住みやすい地域に! 福祉部役員会のようす

炭鉱が最盛期だった昭和30年当時、銭代坊行政区には三井山野炭鉱の労働者とその家族が暮らす長屋(炭鉱住宅)が軒を連ね、約五千人が暮らしていました。行政区の中央には、映画館があり、何でも揃う銭代坊商店街は活気にあふれ、多くの人で賑わっていました。

スーパーや郵便局へ歩いていく方が立ち話をしていると、徐々に人が増えていき、昔ながらの「井戸端会議」が始まります。

同地域福祉部長の東美那子さんは、「他の行政区とは違う、昔ながらの炭鉱気質にあふれた地域性が銭代坊の一番の魅力」と言うように、毎月第4火曜日に開催するふれあい・いきいきサロンは、実に50名近くの方が参加し、おしゃべりに唄に踊りと、とても賑やかな雰囲気になります。毎回欠かさず参加されている和田コトヨさんは、「サロンが本当に大好き。昔の名残りでしょうね、みんなでおもいっきり楽しむんですよ。」と、サロンでのおしゃべりを楽しみにしています。

その一方で、同行政区の560世帯のうち、多くが高齢者世帯、もしくは一人暮らし高齢者世帯となっており、介護サービスを利用する方が多くなりました。また、手すりの設置や浴室、トイレの改修工事が必要な住宅が



おしゃべりすることで気持ちが落ち着きます

多く、家に閉じこもりがちになってしまいう方も少なくありません。東さんは「地域とのつながりが徐々に弱くなってきている人がいるのも事実。そのことをどう解決していくかが、一番の課題です。」と語ります。

また、同地域福祉部では「サロン運営の他に、「声かけ訪問活動」にも力をいれています。同行政区で4年前に起こった一人暮らし高齢者の「孤独死」をきっかけに、東さんと福祉推進員の山下三千子さんは、ご近所の住民約20人のお宅訪問を始めました。この活動は今も続

いており、サロンへの参加につながったり、配食などの福祉サービスの利用につながったりと、徐々にではあります。活動の効果が見られてきています。

「昔のような活気を取り戻すことはできないけれど、同じ境遇で生活を支えあつた仲間」をこれからもずっと皆で守っていきたい。」を合言葉に、同地域福祉部の皆さんは、今日も「お元気ですか」と、住民への声かけ訪問活動を続けています。

本会では、「助け合い、支えあえる地域づくり」をめざして、嘉麻市全域への地域福祉部の設置をめざしております。地域福祉部の活動について「もっと詳しく知りたい」「行政区の会合で説明してほしい」という要望やご意見等がありましたら、嘉麻市社会福祉協議会(TEL42-0751)までご連絡下さい。

地域福祉部の活動のようすは、引き続き本紙面において紹介していきます。

# 障がい児日中一時支援事業 をご存知ですか？



本会では、障がいのある子どもたちが放課後や長期休暇期間中に安全に楽しく活動できる場を提供する「障がい児日中一時支援事業」を実施しています。

このページでは、この事業について詳しくご紹介いたしますので、ぜひ利用してみませんか。

## サービスの内容

- ・交流や憩いの場を提供します。
- ・見守りや利用者に応じた介助をします。
- ・希望者に対して、学校やスクールバスの停留所から事業所まで送迎します。(市内に限る)
- ・希望者に対して、おやつを提供します。

## 開催日・サービスの提供時間

- ◆開催日:月曜日～土曜日  
ただし、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
- ◆提供時間:平日 午後3時～午後7時  
土曜・祝日及び長期休暇期間  
午前8時30分～午後5時

## 利用料金

### 【基本利用料】

障害程度区分	3時間未満	3～8時間未満	8時間以上
区分1	122円	245円	376円
区分2	148円	296円	444円
区分3	189円	378円	567円

### 【その他の費用】

送迎	5km未満	100円/1回
	10km未満	200円/1回
	10km以上	300円/1回
おやつ	100円/1回	

## 実施場所・利用定員

- ◆嘉麻北日中一時支援事業所◆  
場所:旧はぐるま工芸舎(嘉麻市鴨生)  
定員:10名
- ◆嘉麻南日中一時支援事業所◆  
場所:山田ふれあいハウス(嘉麻市上山田)  
定員:平日5名/土曜・祝日及び長期休暇期間6名

## 利用手続きの方法

利用を希望される方は、まず日中一時支援費支給決定を受ける必要がありますので、市の社会福祉課にて申請手続きを行ってください。その後、本会へお申し込みください。

手続きの方法等がわからない場合は、下記までお気軽にお電話ください

## ご協力ください!!

利用者と一緒に遊び、見守りなどをしていただけるボランティアを募集しています。

例えば、スポーツや勉強のサポート、お手玉や折り紙のような昔懐かしい伝承遊びなど、自分の得意なことで協力していただけませんか。また、特技はなくても、子どもと関わるのが好きという方も大歓迎です。みなさんの活動可能な日時で、ご協力をいただければと思います。

「自分にできるかどうか不安」という方は、一度見学に来られませんか。

みなさんのご協力をお待ちしています。



詳しい内容についてのお問い合わせは、

嘉麻市社会福祉協議会 電話 **42-0751** まで

「ホームレスと

ハウスレス

ホームレス化する社会」

「ホームレス」とは誰のことでしょうか。多くの方々は「野宿者」と答えるでしょう。政府も「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所とし、日常生活を営んでいる者」と規定しています。

安定した住居がないことは就職を妨げ、様々な社会的手続き(年金や生活保護など)を不可能にします。また野宿



者が、食料、衣料、医療などあらゆる面で物理的困窮状態に置かれていることは事実です。私たちは、これを「ハウスレス状態」と呼んできました。この物理的困窮をいかにして解消するかは大きな課題であり、国は公的扶助(生活保護等)でこの部分をしっかりと支えねばなりません。

一方、私たちは野宿者が抱える問題を「ハウスレス」のみならず「ホームレス」と捉えてきました。「ホーム」とは、家族、友人、知人など、人々との関係そのものです。「ホームレス」は「関係の困窮」を示す言葉です。路上で亡くなった

人の多くが「無縁」仏として最期を迎えますが、これは彼らの現実を最も端的に示す場面です。この意味でホームレス支援は、物理的困窮との闘いであると同時に無縁との闘いでありました。アパートの設定は、「ハウスレスの克服」に過ぎません。「自立」が「孤立」に終わるなら問題の本質は依然残され

たままです。ホームレス支援において支援者が常に問わねばならないことは「彼らにとって何が(物理的課題: 居宅、衣服、食べ物...)必要か?」と共に「彼らにとって誰が(心配してくれる誰か)必要か?」ということでありました。

今から十数年前、私自身が野宿者問題を「ハウスレス」と「ホームレス」という視点で捉えるきっかけとなった

ある事件が起きました。深夜に中学生らしき少年二人組が自転車やつて来て、寝ている野宿者を襲撃する事件が頻発しました。被害者であるホームレスと一緒に付近の中学校を訪ねました。その際当事者のおやじさんが語った一言が今も印象に残っています。「襲撃は耐えられない。一日も早く襲撃を止めてほしい...しかし、夜中の1時、2時になって町を自転車でウロウロしている中学生は家があっても帰るところが無い子どもたちではないだろうか。親はいても誰からも心配されていない子どもたちではないか。帰るところの無い奴らの気持ち、誰から

も心配されない奴らの気持ち(自分)にはわかるがなあ...」。両者は、加害者と被害者という関係と同時に「ホームレス」という同じ十字架を背負わされている。「帰るところがない」、「心配してくれる人がいない」。彼らは共に「ホームレス」関係を喪失した者たちでありました。

家庭崩壊、学級崩壊、地域社会の崩壊など関係がことごとく崩壊する時代にあつて、中学生のホームレスがおり、サラリーマンのホームレスがおり、「主婦」のホームレスがおり、ホームレスの老人が存在しているのではないか。家には住んでいる(ハウスレスではない)が、ホームレス(関係を喪失している者)である人は、この社会には多く存在しているのではないか。ホームレス支援の現場から逆にこの社会そのものが問われているように思うのです。私たちの社会は、ホームレス化しています。ホームレス支援は、路上の問題から端を差し、私たちの社会そのものを問う問題なのだと思います。

おくだ ともし 東八幡キリスト教会牧師  
奥田 知志さん 認定NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長

1963年、滋賀県大津市生まれ。関西学院大学神学部大学院修士課程卒業、西南学院大学神学部専攻科卒業。学生時代に訪れた大阪市・釜ヶ崎(現:あいりん地区)の日雇い労働者の現状を目の当たりにし、ボランティア活動に参加したことがきっかけで、牧師の道を歩み始める。以来、北九州市を中心に20年にわたってホームレス支援活動を行い「ホームレスは、単に住む家がない(ハウスレス)ことが問題ではなく、社会や人とのつながりを失うことが問題」と訴える。



# 生活福祉資金「修学資金」のご案内

～高校や専門学校、大学等の進学に～

高校や専門学校、短大、大学などに進学する際に必要となる経費を貸付ける、  
修学資金についてご紹介させていただきます。

## 対象となる世帯

- 低所得世帯（世帯の収入が概ね市町村民税非課税程度、または生活保護法に基づく生活保護基準額の1.5倍程度の世帯）
- 被生活保護世帯（担当ケースワーカーへ事前にご相談下さい。）

## 貸付限度額

- 修学資金  
高校・・・月35,000円以内  
専門学校及び短期大学・・・月60,000円以内  
大学・・・月65,000円以内
- 就学支度費  
500,000円以内(入学に際して必要な経費)

## 対象となる世帯収入の例

父	44歳
母	40歳
長女	15歳
長男	12歳

この世帯の場合は、1ヶ月の世帯収入の合計が267,870円以下であれば対象となります。  
世帯構成の年齢や人数によって、基準となる額は異なります。

## 償還開始

- 卒業してから6カ月の据え置き後から

## 貸付利子

- 無利子(ただし、償還期間内に返済が完了しない場合は、延滞利子が発生します。)

## 注意事項

- 生活福祉資金は、他の制度や貸付けとの併用ができません。母子・寡婦福祉資金貸付制度や、独立行政法人日本学生支援機構等、他からの借入が可能な方は対象となりませんので、ご注意下さい。

貸付には、その他にも諸条件があり、ご利用できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

お問い合わせ先：嘉麻市社会福祉協議会 地域福祉係 前田、竹川、東(電話42-0751)

地域の交流拠点を目指して…

## 寄ってこハウス 情報



お～きな菜園で、野菜づくりにチャレンジしませんか!?



誰もが気軽に立ち寄れるような地域の交流拠点を目指す寄ってこハウスでは、地域福祉部のブロック会議や在宅介護者の集いが開催されるなど、少しずつ利用が始まっています。

また、すぐ近くにある畑を地主さんのご厚意によって、無償で借りることができました。

これからこの畑を耕して、野菜づくりを始めたいと思います。

これまで興味はあっても時間がなくてできなかった方やこれを機会に仲間を増やしたいと思っている方、野菜づくりはお任せという方などたくさんの方々を募集していますので、ぜひご参加ください。

春の収穫期には、みんなで豊作を祝いたいですね。

寄ってこハウスに関するお問い合わせは…

嘉麻市社会福祉協議会

☎ 42-0751

# かまボランティア 市民活動センター情報

2009年  
3月

## 大きな丸太に悪戦苦闘？

「日曜大工ボランティア  
「かたつむりの会」が  
木製ベンチ製作中」

2月5日(木)、日曜大工ボランティアグループ「かたつむりの会」のメンバーの皆さんが、長さ2m、幅35cmの大きな丸太を使ってベンチを作るための準備を始めました。

このベンチは、同グループとの協働で、本会が市内のバス停に設置するため製作を依頼したもので、3月末までに4脚の完成をめざしています。

同会の皆さんは、ベンチの製作を受けるにあたって、廃材等をリサイクルした試作品のベンチを作っていたのですが、当日材木店から運び込まれた丸太は太くて大きく、木の皮も堅いため、皮むきは悪戦苦闘の連続でした。



メンバーの一人である永易敬行さんは「こんな立派な丸太とは思わなかった。緊張感を楽しみながら、頑丈でゆったりと座れるベンチを作りたい」と意気込みを語ります。木の香りが漂っているうちに、大きくて丈夫なベンチを市内のバス停にお届けできればと思っています。

### お別れバスハイク ボランティア募集!!

稲築西学童保育所では卒所する児童を対象とした「お別れバスハイク」を実施します。

このバスハイクに同行して、子どもたちと一緒に遊んでいただけるボランティアを募集します。

- 【日 時】 平成21年3月26日(木)  
集合 9時15分 帰着 16時(予定)
- 【内 容】 学童保育所(小3)の子どもたちの遊び相手
- 【集合場所】 稲築西児童館(嘉麻市岩崎 岩崎八幡宮近く)
- 【活動場所】 夜須高原記念の森公園  
※雨天時は北九州市立子どもの館
- 【募集人数】 2名
- 【締 切 日】 3月18日(水)
- 【そ の 他】 昼食は主催者で準備します

# 827 kg

集まりました!!



本会では、市民の皆さんが気軽に行えるボランティア活動の一つとして、アルミ缶の回収事業を行っています。

昨年の4月から本年1月までの10ヶ月間で寄せられた総重量は827kgでした。これを350ml缶に換算すると、55,000本以上にもなります。

これらは、回収業者に持ち込んで換金し、本会が実施する障がい児日中一時支援事業等に活用させていただいています。

本会では、これからも引き続き実施していきますので、ご協力よろしくお願いたします。

### 安心してボランティア活動に参加するために… ～平成21年度ボランティア活動保険にご加入ください～

本会では、市民の皆さんがボランティア活動に安心して参加していただけるよう、ボランティア活動保険の加入を受け付けています。

保険の対象となる期間は、4月1日～翌年3月31日までとなっていますので、現在加入されている方は、継続加入の手続きを忘れずに行ってください。

新規加入も随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

#### 【保険料】

	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本タイプ	260円	420円	590円
天災タイプ	460円	770円	1,130円

※加入するプランによって、補償内容は異なります。

# わいわい広場

子育てリユースセンター情報



## 4月からの進級や 進学に備えて ご利用ください

進級や進学シーズンを間近に控え、制服や学用品に関する問い合わせが増えてきています。中学や高校で使用する制服や体操服、学用品は決して安いものではなく、リユースの輪がもっと広がればと思います。

ご家庭で不用になり、譲る相手もない制服等があれば、ぜひリユースセンターまでお寄せ下さい。現在、碓井中学校の男子用の制服が寄せられています。ちょっとした「掘り出し物」が見つかるかも知れませんので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

### こんな用品はありませんか？

市民の方から、「稲築中学校の女子用の制服は寄せられていませんか？」との問い合わせがありました。あいにくありませんでした。ご家庭やご近所、親戚の方等で使用しなくなった同校の制服をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひリユースセンターまでお寄せください。尚、男子用、女子用とも各サイズ受け付け中です。よろしくお願いいたします。

### 充実しています！乳幼児用の衣類やおもちゃ

リユースセンターの中で一番充実しているものは、乳幼児の衣類です。春物の衣類に衣替えしました。尚、男女、各サイズ別に見やすく整理していますので、ぜひご利用下さい。

### おしゃべりサロンに参加してみませんか？

毎月第二水曜日、午前10時30分から正午まで、碓井千歳会館で「おしゃべりサロン」を開催しています。このサロンは、妊娠中の方や子育て中の方が自由に参加できるもので、毎回10組前後の親子が、子育てに関するおしゃべりなどを楽しんでいます。皆さんも気軽に参加してみませんか？※内容によって、日時が変更になることがありますので、参加される場合は下記までご連絡下さい。



お問い合わせ：嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

# かま・ふれあい展示ひろば開催!

市内のサークルで活動している方々が作った木目込み人形や陶磁器等を展示する「かま・ふれあい展示ひろば」を下記のとおり開催しますので、是非ご来館ください。

## 展示日時

3月9日(月)～15日(日)  
9:00～17:00

## 展示場所

山田ふれあいハウス ホール

## 入場料

無料

<http://kama.syakyo.com/siteikanri.htm>

山田ふれあいハウス 上山田502番地6  
TEL 52-1847

※4月から、閉館時間が19時に変更になります。

碓井千歳会館 下臼井1050番地19  
TEL 62-3538

ふれあい・千歳

新聞



昨年11月発行の社協だより『えがお』で紹介したナイフを使っての果物の皮むき。9月のスタート時は、やわらかい梨の皮、11月からは、硬いりんごの皮むきに挑戦する子どもたち。最近では、大人顔負けで、りんごの皮を途切れる事なく丸ごとむく子どももいます。むいた皮の長さを測り、自分の

## 『丸ごと一個むいたよ』

～1m58cmのりんごの皮～



～稲築東学童保育所～



記録にチャレンジ中です。りんごの皮むきなど、手先を使う動作は、前頭葉を刺激し集中力や注意力を養う効果があるそうです。この取り組みは3月まで続き、夏のキャンプや11月の感謝祭など、今後の食事づくりにも役立てていきます。

おうちの方からは、「夕食の準備を手伝いたがるのですよー」「りんごの皮をむいてくれたんですよー」など、微笑ましい声を聞く今日この頃です。



# ふるさとの風景ポストカード 好評販売中



4枚1セット  
**200円**



嘉麻市の昔懐かしい風景をはがきにしたポストカード「ふるさとの風景」が、「当時を思い出す写真がとても懐かしい」「県外で暮らす家族に贈りたい」と、大変好評です。ポストカードは、社協事務局(稲築住民センター内)の他、カツホー馬古屏でもお買い求めできます。

**カツホー馬古屏** 嘉麻市牛隈882番地1 ☎0948(57)2222  
営業時間 午前8時30分～午後5時

## 4月の総合相談



会場案内

### 法律相談

1回目

とき: 4月2日(木) 13:00~16:00  
ところ: 山田ふれあいハウス

2回目

とき: 4月16日(木) 13:00~16:00  
ところ: 稲築住民センター

### 心配ごと相談

1回目

とき: 4月8日(水) 13:00~15:00  
ところ: 稲築住民センター

2回目

とき: 4月22日(水) 13:00~15:00  
ところ: 稲築住民センター

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。お早めに下記までお申込みください。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

嘉麻市の住民の皆様から、  
ご寄附をいただきました。  
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し  
1月16日～2月15日受付分



【樋渡】 親族 下田 竹喜様  
故 下田 ヤツコ様

【東岩崎】 親族 粉井 サダ子様  
故 粉井 三男様

【鴨生第二】 親族 鬼塚 和代様  
故 鬼塚 義隆様

親族 庄籠 一邦様  
故 庄籠 春子様

【山野第二】 親族 石川 國子様  
故 石川 義明様

【口春】 親族 木村 清一様  
故 木村 順子様

【銭代坊】 親族 緒方 シヅ子様  
故 緒方 ミチ子様

【漆生本村】 親族 田中 清己様  
故 田中 清次様

親族 松本 泰様  
故 松本 守様

【出川】 親族 和田 哲成様  
故 和田 ツネ子様

【下白井西】 親族 末吉 進一様  
故 末吉 繁雄様

親族 田中 健次様  
故 田中 シマ様

【ゆうひが丘】 親族 岩瀬 登様  
故 岩瀬 マスミ様

【熊ヶ畑第三】 親族 棚町 チズ子様  
故 棚町 勝様

【本町】 親族 太郎丸 励子様  
故 太郎丸 喜代子様

【新原】 親族 岡本 純子様  
故 岡本 義郎様

【立石】 親族 伊藤 壽様  
故 伊藤 ミネコ様

親族 江正 敏様  
故 江正 範子様

【嘉穂才田】 親族 井手 英樹様  
故 井手 クメノ様

親族 井手 保生様  
故 井手 サツキ様

親族 斎藤 保生様  
故 斎藤 サツキ様

【大力】 親族 中村 徳幸様  
故 中村 豊士様

【上】 親族 大田 貞子様  
故 大田 嘉隆様

【三日町】 親族 縄田 勲様  
故 縄田 数子様

【下牛隈】 親族 伊藤 末子様  
故 伊藤 吉之助様

親族 山田 英之助様  
故 山田 ヒサ子様

【中益】 親族 金光 友利様  
故 金光 節子様

【一般寄附】 桑野 江藤 兆司様  
嘉穂の名水愛好者一同様

【チャイルドシート】 飯塚市 小野 聡子様

【子育てリユース】 鴨生第一 大和 享子様  
鴨生町 匿 名様  
鴨生北町 服部 陽子様  
南ヶ丘団地 石川 啓子様  
下白井西 坂本 さつき様  
平山 奥 良子様  
筑紫 匿 名様

嘉穂才田 児玉 清美様  
飯塚市 福岡 美紀様  
飯塚市 小野 聡子様  
桂川町 永島かおり様

【アルミ缶】 下白井東 匿 名様  
ゆうひが丘 大塚 直美様  
天神 島田 睦男様  
下宮 仲道 庸正様  
下牛隈 畠中 鈴香様

【リングプル】 漆生中央 田中 茶舗様  
辻中竈 永水 敏光様  
飯田 田中 利幸様  
大橋 武田 ハマ様  
石ヶ崎 國武 美千代様  
尾浦第一 木下 松江様  
百々谷 匿 名様  
中央 納富 玲子様  
筑紫 原田 マサ子様  
稲築志耕館高校 様  
上山田小学校奉仕委員会 様  
ソフトバレー 嘉穂クラブ様  
嘉麻市役所保護課 様

【古切手】 辻中竈 永水 敏光様  
口春 匿 名様  
石ヶ崎 渡邊 美千代様  
原町 松岡病院 様  
中益 浦田 美香様

【使用済みテレカ】 上西郷 匿 名様  
原町 松岡病院 様  
宮野小学校 様

【寄つてこハウス掛け時計】 稲築才田 匿 名様

あなたのお会費が、社協の  
地域活動を支えています。  
会員として、次の方々に  
ご加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)  
1月16日～2月15日受付分

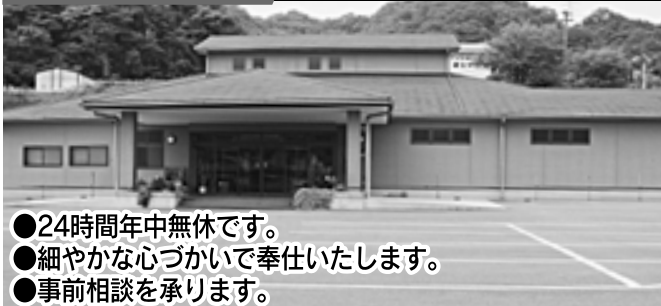
【個人会員】  
〈漆生本村〉松本綾子  
〈鴨生第二〉下木屋篤・下木屋初代  
〈西岩崎〉前田浩明・前田智子  
〈東岩崎〉木原隆弘・木原靖世  
〈下白井西〉東直哉・東美由紀  
〈南ヶ丘〉樋口正人・樋口智子  
〈ゆうひが丘〉鈴木ミヨ子・川上光雄(二口)  
〈本城〉松尾フジ子・樫原チト  
七・重松紀久子・有山和子・松岡孝司・岸房綾子・松尾明江・大津雅都

教育ナビゲーション(株) 様  
嘉麻市役所社会福祉課 様  
嘉麻市役所保護課 様  
グラントベルズ飯塚 様

- 〈中山田上〉吉塚茂・吉塚愛子・平嶋伴水・大畑忠義・大畑美千代・新井義孝・新井藤子・広津幸子・松岡ユキ
- 〈立石〉白石文代
- 〈三菱第二〉柴田俊夫・柴田礼子
- 〈天神〉諫山テル子
- 〈下宮〉内橋正・内橋伸彰・本岡サナエ
- 〈本町〉渡辺保弘
- 〈尾浦第二〉吉丸慎也・吉丸公隆・森友美由紀・松尾ヒサヨ
- 〈山下〉伊藤文夫・伊藤りゆ子
- 〈原町〉嶋津軍蔵・嶋津カズ子
- 〈中央〉渡辺進・渡辺智子
- 〈熊ヶ畑第二〉大里和久・大里美郁
- 〈大橋〉本村留美子・本村夏子
- 〈桑野〉渡辺季好・渡辺てつ子・大里洋司美
- 〈下牛隈〉樋口俊春・畠中享・畠中明美
- 〈西馬見〉縄田松美・縄田智子・縄田和之・縄田由紀子・縄田圭弘
- 〈飯塚市〉竹川寿一・竹川瞳・大庭隆弘・大庭美喜子・松田裕子
- 〈桂川町〉藤中英数・藤中こずえ
- 〈川崎町〉吉塚仁(二〇口)
- 【法人会員】
- 〈川崎町〉長弘商店



嘉麻市社会福祉協議会指定 **【葬祭場紹介】 ひさつね会館** 嘉麻市上山田971-4 ☎(0948) **52-0758**



●24時間年中無休です。  
●細やかな心づかいで奉仕いたします。  
●事前相談を承ります。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、ひさつね会館を含め、市内に8カ所あります。

いすや会館	☎ 57-4444
セレモニーホールおおつか	☎ 52-1212
かほ葬祭あじさい会館	☎ 62-5566
善光会館 稲築会場	☎ 83-5000
おかむら葬祭岡村会館	☎ 42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎ 42-4241
きど葬祭 やまさ碓井斎場	☎ 62-4499

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬祭にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

## 知っておきたい

### 葬儀マナー・基礎知識 No.22



今回ご回答頂くのは…  
ひさつね会館 大石 正浩さん

**Q.** お骨を納めるお寺(お墓)がありません。どのようにしたらいいですか？

**A.** 四十九日が終わるとお墓や納骨堂に納骨する方が多いようですが、自宅に安置したままでも構いません。また納骨の準備を進めている間、お骨を預かっていただけることもありますので、お寺さんに相談してみてください。

## コラム 交差点

先日、市内の幼稚園に通う4歳の娘が、仕事から帰ったばかりの私に飛びかかるように駆け寄り、「おばちゃんからもらったあ〜」と松ぼっくりを自慢げに差し出しました。大きくて立派な松ぼっくりに驚き、「すごいね、おばちゃんって誰？」と尋ねると「バスのところのおばちゃん」という返事が返ってきました。私はその方が誰なのかわからなかったのですが、妻の説明でようやく顔が浮かんできました。



娘は毎朝、自宅前の道を挟んだ園指定のバス乗降場から登園しています。バスを待つ間に、びよん、びよんとかえるのよう飛び跳ね、「先生おはようございます！」と元気にあいさつしながらバスに乗り込んでいくそうです。そんな娘の姿を毎朝見守ってくれているのが「バスのところのおばちゃん」なのです。乗降場所のすぐ近くに住んでおられるので、娘がそう呼んでいます。

今の家に引っ越してきて10年近くになりますが、その方の名前はもちろん、どのような方が住んでおられるのかさえ知りませんでした。しかし、娘の登園がきっかけでささやかな「交流」が始まりました。「バスを待っている姿がかわいくてね。つい、声をかけたくなったのよ。」そう言うって、手作りのお菓子や小物などをプレゼントしてくださいませ。娘もうれしそうにクレヨンで「お礼の手紙」を書いていきます。

私は、あまりにも遅いご近所づきあいに、なんとも言えない恥ずかしさを感じました。日頃から「住民同士のつながり」と言っていますが、「社協の職員」である前に、一人の「住民」としての意識はどうだったか。それが、私にとって何より大切にしなければならぬ意識であったことに、ようやく気づかされました。今度は私も「お礼の手紙」を書こうと思います。(前)

がんばれ!「ふるさと」

名古屋から博多までの三時間半の新幹線の旅は、二十年前の自分へのタイムスリップの空間です。



愛知県刈谷市在住  
坂口 一彦さん(62歳)  
下臼井西出身

篠栗線に乗り換えると懐かしい「ふるさと」の言葉が耳に飛び込んで、思わず笑顔がこぼれます。トンネルを抜け「ふるさと」が近づくと太陽も樹木も周りの全てが、父や母のように「お帰り」と語りかけてくれます。

トヨタ自動車の本拠地に住む私は、自動車産業の根幹を揺るがす大不況の渦中に居ます。私の周りでも、切り捨てられた期間工や派遣社員の人達が、家も仕事も失って路傍に投げ出されています。この状況を見て、閉山の傷が未だに癒えない「ふるさと」がいつそう疲弊するのはと心が痛みます。全国に散って行った友達、「ふるさと」で頑張っている人達、炭鉱事故のサイレンで坑口へ走った日のこと、母と一緒にボタ山に焚木採りに行った日々が昨日の事のように思い出されます。

私は、現在、愛知県と飯塚市でコンビニを経営しています。二十キロ周辺に在る店舗を巡回するのが日課です。また、二ヶ月に一度は、飯塚の店舗を見に帰ります。苦しい時は、炭鉱で働いていた父が極寒の朝、ぶつ掛け飯を掻きこんで出勤していたうしろ姿に励まされて頑張っています。

「人生いたるところに青山あり」  
私は、まだまだ六十二歳です。いつの日か、ふるさとに恩返ししなければと考えています。

長谷山の緑、嘉麻川の清流のとしえと、嘉麻市の発展をお祈りいたします。

いつまでも安心して暮らせる地域づくりのために

～「社協会員」を募集しています～

嘉麻市社会福祉協議会では、市民の皆さんの参加と協力を得ながら、高齢となっても、また障がいがあっても、住み慣れた嘉麻市で、いつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な福祉活動を実施しています。これらの活動は、本会に賛同して加入いただいた会員の方々からの「会費」によって実施されているものが多く、本会では、年間を通じて会員の募集を行っています。



頂戴した会費は、福祉のまちづくりに向けた活動財源として、有効に活用されるものですので、多くの方々の加入をお願いいたします。

※市外の方の加入も受け付けております。

■ 会費の種別と金額

- 一般会員 1口 1,000円/年額
- 法人会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

シリーズ  
炭鉱の記憶 No.24



熊谷利夫さん  
85歳  
(鴨生第一在住)

「炭鉱において、機電関係者は、出炭作業が容易かつ滞りのないように、万全を期すことを本分とすべきである。」これは、熊谷さんが取材前に用意してくださった「熊谷メモ」の書き出しです。熊谷さんが三井山野炭鉱で働いていた当時、所属係のスローガンのようなものであったそうです。熊谷さんは、飯塚市の夜間中学校(現在の定時制高校)を卒業後、昭和19年5月に三井山野炭鉱に入社し、技術部門の最前線である「機械設計係」に配属されました。しかし、半年後に徴兵され広島へ。群馬県で終戦を迎えました。「復員までは多少時間がかかるのが通常でしたが、私は炭鉱に勤めていたので、1ヶ月足らずで故郷に帰ることができました。石炭の採掘で国力を回復させることが大事だったからでしょう。」と、当時の資料を眺めながら回想します。

戦争によって中断された「遅れ」を少しでも早く取り戻すため、熊谷さんは採炭に必要な機械や設備の設計に没頭しました。その結果、昭和25年に、斬新なアイデアで「タプターナー」と呼ばれる高能率の設備の開発に成功。ボタを降ろした鉄製炭車が無動力で元の状態に戻るといって「重心移動」を利用したこの設備は、充填作業効率向上に大きく貢献するものでした。会社からの「表彰状」を熊谷さんは今も大切に保管しています。

「朝早くから夜遅くまで、図面とのにらめっこの日でした。採炭する作業員がいかに安全に素早く作業できるか。私たちの仕事はまさに裏方で。設計した設備が役に立つことが何よりうれしかったです。」と目を細めます。

多くの設備の開発に携わった熊谷さんは、同炭鉱の閉山を待たずに鉄工所に転職し、緻密な構造計算と持ち前のアイデアを活かしてその後独立しました。「炭鉱で十分に勉強、研究をさせていたから今がある。」前述の「熊谷メモ」はこう締めくくられています。